

第4章 計画の推進に向けて

1. 評価指標と目標

計画の進行管理を行うため、次のとおり基本目標ごとに評価指標を設定し、毎年度自己評価を実施し、達成に努めていきます。

【基本方針1】市民の学びを支える拠点としての図書館を目指します

指 標 ①：蔵書点数

説 明：適正な蔵書管理による図書館（本館・分館、公民館図書室）全館の蔵書数（雑誌、視聴覚資料、紙芝居を含む。）

設定根拠：継続的に図書購入費が予算措置されることを前提として、蔵書目標値を設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
556,998点 560,000点

指 標 ②：人口1人当たりの貸出冊数

説 明：人口1人当たりの図書館（本館・分館、公民館図書室）全館の蔵書数（雑誌、視聴覚資料を除く）

設定根拠：令和6年度の市の実績及び県内平均4.56冊を踏まえ、目標値を設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
4.96冊 5.0冊

指 標 ③：電子図書館商用コンテンツ保有数

説 明：期間限定コンテンツ、期間なしコンテンツを合わせた年度末における商用コンテンツの保有数

設定根拠：継続的に電子図書権利取得料が予算措置されることを前提として、目標値を設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
3,770点 4,500点

指 標 ④：レファレンス件数

説 明：利用者の相談に応じて、必要とする資料や情報を提供し、学習や調査・研究の支援について、職員が対応した件数

設定根拠：令和6年度実績を踏まえ、継続的にレファレンスが継続されるとともに、目標年度まで5%増を見込み設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
335件 350件

指 標 ⑤：司書資格保有率

説 明：常勤職員総数のうち、司書・司書補資格を有する職員の割合

設定根拠：令和6年度実績を基本として現状維持していくことを前提として、図書館職員の司書資格保有者を確保・育成していくために設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
55.0% 55.0%以上

【基本方針2】市民の豊かな読書活動を支える図書館を目指します

指 標 ①：バリアフリー資料等の貸出点数

説 明：大活字本、点字本、布絵本、LLブック、D A I S Yの合計貸出点数

設定根拠：令和6年度実績を踏まえ、目標年度まで10%増を見込み設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
2,270点 2,500点

指 標 ②：電子図書館の貸出点数

説 明：電子図書館の貸出点数

設定根拠：令和6年度実績を踏まえ、目標年度まで10%増を見込み設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
4,953点 5,448点

【基本方針3】多様な活動を支援する図書館を目指します

指 標 ①：来館者数

説 明：図書館（本館・分館）の来館者数の合計

設定根拠：コロナ禍以降、貸出を伴わない滞在型の需要も伸びているため、令和6年度実績を踏まえ目標値を設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
413,081人 425,000人

指 標 ②：利用者満足度

説 明：来館者アンケートによる総合的な満足度

設定根拠：令和6年度アンケート結果を踏まえ目標値を設定。

目 標： 年度 令和6年度実績 令和12年度目標値
89.3% 90.0%

【基本方針4】すべての子どもが読書に親しむまちを目指します

指標①：不読率

説明：一定期間に1冊も本を読んでいない人の割合

設定根拠：令和5年度全国学校図書館協議会データ、目標値を設定。

目標：年度 令和6年度実績 令和12年度目標値

小学生	18.5%	8.5%以下
中学生	24.3%	23.4%以下
高校生	65.9%	48.3%以下

指標②：読書が好きな子どもの割合

説明：アンケートで「本を読むのが好き」と答えた子どもの割合

設定根拠：令和6年度実績に5%増として目標値を設定。

目標：年度 令和6年度実績 令和12年度目標値

小学生	56.9%	59.8%以上
中学生	39.5%	41.5%以上
高校生	36.1%	37.9%以上

指標③：ブックスタート・パック配布率

説明：4か月検診受診者に対するパック配布率

設定根拠：令和6年度実績を踏まえ、全員配布を目指し目標値を設定。

目標：年度 令和6年度実績 令和12年度目標値

99.1% 100.0%

【埼玉県市町村図書館活動調査に基づく指標】

指標①：図書購入費

説明：図書館（本館・分館、公民館図書室）全館の図書購入費

設定根拠：令和6年度の市の実績及び県内平均16,296千円を踏まえ、目標値を設定。

目標：年度 令和6年度実績 令和12年度目標値

28,288千円 28,288千円

指標②：人口1人当たりの図書購入費

説明：市民一人当たりの図書購入費（本館・分館、公民館図書室全館の図書購入費）

設定根拠：令和6年度の市の実績及び県内平均140円を踏まえ、目標値を設定。

目標：年度 令和6年度実績 令和12年度目標値

196円 196円

指標③：蔵書冊数

説明：適正な蔵書管理による図書館（本館・分館、公民館図書室）全館の蔵書数（雑誌、視聴覚資料を除く。）

設定根拠：令和6年度の市の実績及び県内平均377,163冊を踏まえ、目標値を設定。

目標：	年度	令和6年度実績	令和12年度目標値
		526,552冊	530,000冊

指標④：人口1人当たり蔵書冊数

説明：人口1人当たりの図書館（本館・分館、公民館図書室）全館の蔵書数（雑誌、視聴覚資料を除く）

設定根拠：令和6年度の市の実績及び県内平均3.25冊を踏まえ、目標値を設定。

目標：	年度	令和6年度実績	令和12年度目標値
		3.65冊	4.00冊

指標⑤：個人の貸出冊数

説明：図書館（本館・分館、公民館図書室）全館の団体を除く貸出冊数（雑誌、視聴覚資料を除く）

設定根拠：令和6年度の市の実績及び県内平均530,223冊を踏まえ、目標値を設定。利用者の多様な要望に応える資料の充実に努め、各種図書館サービスや情報提供により、増加を目指す。

目標：	年度	令和6年度実績	令和12年度目標値
		714,052冊	750,000冊

指標⑥：人口1人当たりの貸出冊数【再掲載】

説明：人口1人当たりの図書館（本館・分館、公民館図書室）全館の蔵書数（雑誌、視聴覚資料を除く）

設定根拠：令和6年度の市の実績及び県内平均4.56冊を踏まえ、目標値を設定。

目標：	年度	令和6年度実績	令和12年度目標値
		4.96冊	5.0冊

2. 計画の進行管理と評価

第4次朝霞市立図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画は、ふたつの計画を一本化し、図書館や朝霞市の現状を検証した上で、今後のより良い図書館づくりや子どもの読書活動の推進に向け、計画的・段階的に実施していく計画となります。

基本方針として、

1. 市民の学びを支える拠点としての図書館を目指します
2. 市民の豊かな読書活動を支える図書館を目指します
3. 多様な活動を支援する図書館を目指します
4. すべての子どもが読書に親しむまちを目指します

の4点を設定しました。

それぞれの施策について、サービス向上のための方向性を確認しながら継続していくことを示していますが、計画の推進にあたっては、各施策の費用対効果や社会状況等を考慮しながら、より有効な展開を行う必要があるため、計画に位置付けた施策の評価指標及び数値目標について、毎年度、点検や評価を行い、それを基に実情に即した対応や修正を加えていくことが重要であることから、各目標の評価指標及び数値目標について、適正に進行管理していくとともに自己評価を行います。

また、図書館が行う自己評価については、「朝霞市立図書館協議会」及び「朝霞市子ども読書活動推進連絡会」に報告するとともに、評価及び意見を伺うものとします。

あわせて、日常の館運営を通して得られる各種統計資料や、他図書館との比較や県内図書館水準との比較等による量的評価、来館者アンケートによる図書館利用の満足度測定による質的評価を行いながら、計画の推進に努めています。

なお、本図書館サービス基本計画・子ども読書活動推進計画については、今後の経済情勢や図書館を取り巻く状況の変化により、必要に応じて見直しを行うものとします。